

平成22年4月 経営協議会議事録

I. 日 時 平成22年4月27日(木) 15時00分～16時40分

II. 場 所 千葉大学けやき会館 レセプションホール

III. 出席者 齋藤学長、赤田、有馬、大宮、加賀見、黒木、西村、船橋
山本、北村、野波、嶋津、池田、瀧澤、木庭各委員
(欠席：井上、佐久間、桜田、茂木、堀、河野各委員)
陪席者 来栖、西川各監事

IV. 前回経営協議会議事録について
原案のとおり承認された。

議事に先立ち、学長から挨拶があり、続いて、新たに学外委員に就任した大宮秀一氏、佐久間英利氏、船橋晴雄氏の紹介並びに学内委員として池田輝司理事、瀧澤文雄 教育学部長、木庭卓人 園芸学研究科長の各委員の紹介があった。

V. 審議事項

1. 学長選考会議委員の選出について

学長から、現学長は平成23年3月31日をもって3年の任期が満了となることから、学長選考会議を設け選考手続を進める必要があり、経営協議会の学外有識者から選出する学長選考会議委員について諮りたい旨提案があった後、7名の委員を選出することについて参考資料により説明し、以下の委員を選出したい旨提案があり、了承された。

赤田 靖英 委員
有馬 龍夫 委員
井上 孝美 委員
大宮 秀一 委員
加賀見俊夫 委員
黒木登志夫 委員
桜田 弘 委員

また、学長から、教育研究評議会から今年度新たに選出される委員については、4月15日開催の教育研究評議会において選出されている旨、資料に基づき報告があった。

2. 国立大学法人千葉大学経営協議会規程の一部改正(案)について

学長から国立大学法人千葉大学経営協議会規程の一部改正(案)について審議願いたい旨提案があった後、資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

V. 報告事項

1. 中期目標・中期計画・平成22年度計画について（○：学外委員、◎学内委員）
山本理事から、中期目標・中期計画・平成22年度計画について資料に基づき説明があり、以下の質疑応答があった。

- 運営費交付金の試算に用いられている $\alpha 1$ 、 $\alpha 2$ 、 $\alpha 3$ とは何か
- ◎ $\alpha 1$ は大学病院を有しない大学に係る改善係数で $\Delta 1.0\%$ 、 $\alpha 2$ は大学病院（赤字なし）を有する大学に係る改善係数で $\Delta 1.4\%$ 、 $\alpha 3$ は大学病院（赤字）を有する大学に係る改善係数で $\Delta 1.8\%$ をそれぞれ示している。

2. 千葉大学の目指すところと重点課題について（○：学外委員、◎学内委員）
齋藤学長から、「千葉大学の目指すところ-重点課題2009-」及び「千葉大学の目指すところ-2010-」について資料に基づき報告があり、以下の質疑応答があった。

- 裁量労働制は未導入なのか。
- ◎ 未導入である。
- 法人化のときに導入しなかったのか。
- 裁量労働制を導入しないと勤務の自由度がない。
現実的には、教員の裁量労働制を導入しないと勤務時間管理との関係でうまくいかないのではないかと。
- ◎ 個人申請をしない教員がいてもしかたないと思うが、制度として導入していないのはいかがなものか。
- ◎ 裁量労働制を導入していない全国でも数少ない国立大学だということは認識している。

3. 医学部附属病院の拡充整備計画について（○：学外委員、◎学内委員）
山本理事及び山本副病院長から、医学部附属病院の拡充整備計画について、資料に基づき報告があり、以下の質疑応答があった。

- 医師不足の昨今、計画に見合った医師は確保できるのか。
- ◎ 病院として総力を挙げて取り組んでおり、初期研修医の確保は必ずしも順調とはいえないが、後期研修医の確保は順調である。
また、病院を高度化することにより若い優秀な医師を確保しやすくなるので、計画に見合った医師を確保できると考えている。
- 病院の医師定員増は可能なのか。
- ◎ 医師が増えれば病院収入も増えるので、医師定員を病院収入の範囲内で増やすことは可能である。
- 千葉大学の医師確保策が他院に影響を及ぼさないのか。
- ◎ 平成20年度より千葉県健康福祉部と効率的な医師の再配置について、定期的に協議を進めている。
- 経費を財務・経営センターからの長期借入金で賄うということだが返済期

間・金利はどのくらいか。また、財務・経営センターの貸付原資は何か。

- ◎ 返済期間は、建物にかかるものは25年（5年据え置きで20年返済）、病院収入を上げることができる大型医療機器にかかるものは10年（1年据え置きで9年返済）である。

金利は一般銀行より低い2%前半で全国どこでも同じ金利で貸付を受けられる。

貸付原資は財政融資資金及び財投機関債である。

- 医療機器更新にどの程度見込んでいるか。
また、医療の進歩による新たな経費は見込んでいるのか。
- ◎ 平成16～33年に借入金で賄う設備のため65億円程度を見込んでいる。この中には、X線のテレビシステム、MRIやペットのサイクロトロンなど3億円程度の単価の高い医療機器の更新も見込んでいる。また、普段使用する機器の更新（7年ごとの更新）については、借金によらない病院収入での更新を予定している。

10年先の医療の進歩を予想するのは極めて難しいが、現在見込むことができる全ての経費について見込んだ計画である。

- 千葉大学病院には、病院運営費交付金は入っていないのか。
- ◎ 本学は人件費相当の運営費交付金は入っているが、借入金償還に係る病院運営費交付金は入っていない。
- 千葉大学の目指す方向に国際化を掲げているが、大学病院の整備と国際化を関連させて目指すところを進めると面白いのではないか。
例えば医師不足対策として医師の一定割合を海外から招くとか、世界から患者を受け入れるなどしてはどうか。
- ◎ 医師免許法との関係で難しい面もあるが、医学領域での国際化を考えていきたい。
- 3.5次救急を目指すという説明があったが、他の医療機関との調整はできているのか。
- ◎ 千葉市内に救急医療センターが1つしかないこともあり、千葉県健康福祉部と県の医療ネットワーク構築について協議を進めている。
- インドネシアやフィリピンから受け入れた者が2年で看護師の資格を取得することは試験における言葉の問題等から難しい面があるように聞いているが、大学として問題解決に向け発信することはできないのか。
- ◎ 国立大学附属病院長会議等でアピールしていくことは可能である。
- ヘリポートから救急部まで相当距離がありそうだが。
- ◎ 専用直通エレベータを使うと距離にして200m程度であり、数分で到着可能である。

以上